

富山県 富山圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

富山圏域は、富山湾の湾奥、県の中央部に位置しており、滑川市と県庁所在地である富山市とを含んでいる。

圏域の東側、滑川市に位置する滑川漁港沿岸域は、「ホタルイカ群遊海面」として国の特別天然記念物に指定されており、古くから定置網によるホタルイカの漁獲が盛んに営まれている。また、圏域の西側、富山市に位置する水橋漁港や四方漁港においてもホタルイカを中心とする定置網漁業が盛んである。また、国際拠点港である富山港の岩瀬船溜りにおいては大型定置網のほか、小型底曳網によるシロエビ漁が盛んである。滑川漁港、四方漁港、岩瀬船溜りには産地市場があり、県内外へ水産物が出荷されている。2市（富山市、滑川市）、2漁協（とやま市漁業協同組合、滑川漁業協同組合）となっている。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

- ・主要漁業種類：定置網漁業、小型底曳網漁業、かご漁業
- ・主要魚種の生産量：いか類 1,444 トン、えび類 358 トン、あじ類 239 トン、ぶり類 150 トン、いわし類 135 トン、さば類 133 トン

③ 水産物の流通・加工の状況

- ・滑川漁港において陸揚された水産物は、産地市場である滑川漁協地方卸売市場から仲買人を経由し、県内各地へと出荷される。滑川漁協地方卸売市場は、取扱量が年間約 595 トン(7位)、取扱金額が年間約 4 億円（5位）の市場規模である。
- ・水橋漁港、岩瀬船溜りにおいて陸揚された水産物は、主に産地市場であるとやま市漁協岩瀬地方卸売市場から仲買人を経由し、県内外へと出荷される。とやま市漁協岩瀬地方卸売市場は、取扱量が年間約 1,426 トン（4位）、取扱金額が年間約 10 億円（4位）の市場規模である。
- ・四方漁港において陸揚された水産物は、主に産地市場であるとやま市漁協四方地方卸売市場から仲買人を経由し、県内外へと出荷される。とやま市漁協四方地方卸売市場は、取扱量が年間約 843 トン（5位）、取扱金額が年間約 4 億円（6位）の市場規模である。

④ 養殖業の状況

本圏域内では養殖業は行われていない。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

○滑川漁業協同組合（R2）

- ・組合員数 正組合員：75 准組合員：116 計：191
- ・県内全体の組合員数の約4%を占めている。
- ・近年の組合員数は横ばいにある。

○とやま市漁業協同組合（R2）

- ・組合員数 正組合員：100 准組合員：73 計：173
- ・県内全体の組合員数の約3%を占めている。
- ・近年の組合員数は減少している。（主に准組合員が減少）

⑥ 水産業の発展のための取組

・富山県産のベニズワイのブランド化を推進し、県外産との差別化を図るため、平成29年6月に「高志の紅ガニ」として商標登録された。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

圏域内の漁港については、整備はほぼ概成しているが、施設の老朽化により、補修や更新が必要な施設が増加していることから、予防保全による施設の長寿命化を図るとともに更新コストの平準化やコスト縮減が課題である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

現時点でなし。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	生産力向上型	設定理由；この地域に属する漁港は、共に沿岸部での定置網漁業を主として水産物の生産・供給を行っている。
② 圏域範囲	滑川市 富山市	設定理由；定置網漁業により、ホタルイカを主とした水産物の生産・供給を行っている。

③ 流通拠点漁港	該当なし	
④ 生産拠点漁港	滑川漁港	<p>設定理由；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2種漁港で、属地陸揚げ金額は約4億円。 ・陸揚げされた水産物は、産地市場である滑川漁協地方卸売市場から仲買人を經由し、県内外へ出荷されている。 ・災害発生後も圏域内の生産・流通の拠点として機能を早期に回復させる体制が整備されている。（主要施設の機能強化事業による耐震耐波対策を実施済み）
	水橋漁港	<ul style="list-style-type: none"> ・第2種漁港で、属地陸揚げ金額は約2億円。 ・災害発生後も圏域内の生産・流通の拠点として機能を早期に回復させる体制が整備されている。（主要施設の機能強化事業による耐震耐波対策を実施済み）
	四方漁港	<ul style="list-style-type: none"> ・第1種漁港で、属地陸揚げ金額は約4億円。 ・四方漁港及び水橋漁港で陸揚げされた水産物は、産地市場であるとやま市漁協四方地方卸売市場から仲買人を經由し、県内外へ出荷される。 ・災害発生後も圏域内の生産・流通の拠点として機能を早期に回復させる体制を整備されている。（主要施設の機能強化事業による耐震耐波対策を実施済み）
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

(令和 2 年)			
圏域の属地陸揚量(トン)	2,887	圏域の登録漁船隻数(隻)	115
圏域の総漁港数	4	圏域内での輸出取扱量(トン)	不明
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	該当なし		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種			
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)			
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)			

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

本圏域における産地間競争力の強化を図り、消費者に安全・安心な水産物を供給するため、漁船航行の安全性や漁業者の作業効率化を図り、水産物の生産流通コストの削減を推進する。

また、地元水産業の更なる成長に向け、漁業者の漁業活動の省力化や軽労化を目的とした安全対策向上施設や就労環境改善施設の整備を推進し、水産物の生産流通コストの縮減を図り、生産量の増大と新たな販路拡大を目指す。

とやま市漁協では、スマート ICT として競りの電子化を行っており、産地市場統合・機能強化促進事業を活用し、漁協職員が入札する漁獲物の情報や写真を撮影し、タブレット端末に入力して仲買人に配信しており、産地市場にいなくても、タブレットで確認して入札に参加できる取り組みを行っており、水揚情報の電子化により販売業務の運用コストの低減と水産物流通の業務効率化を図る。

また、富山市は、水橋漁港沖のホタルイカ定置網で、定置網に魚群探知機を設置して海上に通信機器を浮かべ、陸上にいる漁業従事者がスマホのアプリで定置網の中に魚がどの程度入っているかをリアルタイムに確認する取り組みを実施する。

② 養殖生産拠点の形成

本圏域における養殖生産拠点の形成は予定されていない。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

- ・海洋環境の変化等により、藻場の部分的な衰退がみられる海域において、藻場の保全活動を行っており、水産多面的機能発揮対策事業を活用し、滑川高校海洋科海洋クラブが行っている母藻の設置の活動について支援していく。
- ・県水産研究所では、貧植生海域における藻場造成の実証研究として、海藻種苗を付着させたロープを移植し、海藻が成長し卵や胞子を放出して周辺に海藻を増やす取り組みを行っている。また、モニタリングについては5年毎に、湾内の藻場の調査（種類、現存量、面積等）を実施し、藻場の生育状況を確認している。

②災害リスクへの対応力強化

本圏域内の各拠点漁港では、「富山県設計津波に関する連絡調整会議」や「県防災会議地震対策部会」によるシュミレーション調査による検討において、東日本大震災のような海溝型地震による甚大な被害をもたらす津波は想定されていないが、活断層地震による津波が想定されており、地震動や津波に備え、被災後の地域の漁業活動や水産流通が早期に再開できるよう地震・津波対策に取り組んでいる。

また、富山県湾特有の冬季風浪による「寄り回り波」による高波被害への対応が必要であり、H20の入善高波災害の後に県内全域で見直した設計沖波による漁港の主要な防波堤等の耐震・耐津波・耐波浪対策（嵩上げ、拡幅等）を推進している。

各拠点漁港においては、主要な陸揚岸壁の耐震耐波対策による機能強化を概ね完了しており、今後は老朽化により機能低下が懸念されている漁港施設について、予防保全による計画的な補修を行う。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

水橋漁港には水橋フィッシャリーナ（142隻収容）が整備され、常願寺川河口周辺のプレジャーボートの収容基地として活用されており、富山市周辺の海洋レクリエーションの拠点となっている。

また、釣りができる親水防波堤が整備され、防波堤には防護柵が設置されているため、親子連れでも安心して釣りが楽しめることから、週末は県内外からの多くの釣り客が訪れる釣り場として、地域の交流拠点となっている。

滑川漁港では毎年3月～5月に「ほたるいか海上観光」が開催され、沖合の漁場で定置網漁業の海上見学やほたるいかミュージアムでの活ホタルイカの提供等を行っており、交流人口の拡大による観光振興と地域の活性化により、漁業者の所得向上を図る。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

水橋漁港には地元漁協の建物を活用して若手漁師が設立した「遊水会」で運営する「水橋食堂 漁夫」があり、地元で水揚げされた魚を中心にした富山湾の魚料理（漁師グルメ）を提供し、地域の交流拠点として魅力を発信し、低迷している魚価の向上を図る。また、店内では若者や観光客に漁業に関心を寄せてもらう取り組みを進めており、富山湾の魚を入れた水槽の展示や店内モニターでの定置網漁の動画の上映、地域住民に向けた親子料理教室やビアガーデンを開催し、地域の交流拠点としてPRしている。

滑川漁協では組合女性部によるホタルイカ料理教室が開催されており、市内の小中学校の学校給食にホタルイカを提供している。

漁港施設の老朽化により補修や更新が必要な施設が増加していることから、予防保全による施設の長寿命化と漁業者の就労環境の改善を図るため、防波堤等の機能保全工事を実施する。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
該当なし					

・「富山県漁港環境衛生管理指針」に基づく対策（主としてソフト対策）に取り組む。

②養殖生産拠点の形成

現状では、本計画期間内での各圏域における養殖生産拠点の形成は困難である。まずは、現行の小規模養殖や新たな養殖への取り組みを推進することで、将来的な大規模養殖の可能性を模索していく必要がある。

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
該当なし					

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
滑川	藻場・干潟	水産多面的

・海洋環境の変化等により、藻場の部分的な衰退がみられる海域において、水産多面的機能発揮対策事業による藻場の保全に係るソフト対策として母藻（テングサ、ヤツマタモク等）の設置・モニタリングを行う。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
滑川	予防保全	機能保全	滑川漁港	2	
富山	予防保全	機能保全	水橋漁港	2	
富山	予防保全	機能保全	四方漁港	1	

・各漁港において、老朽化した防波堤や岸壁の補修、泊地浚渫を計画的に行い、漁港施設の長寿命化を図る。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
該当なし					

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
該当なし					

4. 環境への配慮事項

- ・堤防等の機能保全工事や水域の浚渫においては、工事で発生する汚濁が沿岸の漁業に影響を及ぼさないよう、汚濁防止対策や実施時期の調整を行う。
- ・岸壁の照明灯のLED化を図り、維持管理費の削減による省エネ対策を推進する。

5. 水産物流通圏域図

別添「富山県 水産物流通圏域図」参照

富山県 水産物流通圏域図



新湊圏域 流通拠点(一般)型
 流通拠点:新湊漁港(3)
 圏域総陸揚量:3,325t
 圏域総陸揚金額:17億円
 漁港1港、港湾0港

50t未満	
50~100t	
100~500t	
500~1000t	
1000~5000t	
5000t以上	

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- : 一般漁港
- : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
- ☆ : 産地市場
- 漁業: 主な魚種
 (主な漁業種が、 (巻き網・底引き網等、)
、、、 の場合は示す)
- ← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)
- ←... : 水産物集約 (陸送)
- ⇨ : 加工場・消費地への出荷
 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、
 県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を
 できる限り示す。)
- ← : 養殖に係る水産物の流れ
- : 養殖漁場